



防災について 調べる



調べものに役立つ
資料案内



埼玉県のマスコット
コバトン

埼玉県立熊谷図書館
人文・社会科学資料担当
熊谷市箱田5-6-1
Tel : 048-523-6291

災害大国といわれる日本。1995年に国内で史上初めてとなる震度7の揺れを記録した「阪神・淡路大震災」から30年を迎えました。それ以降も、2004年の「新潟県中越大地震」、2011年の「東日本大震災」、2024年の「能登半島地震」など、大きな地震が頻繁に発生し、今後30年以内に発生が予想されている巨大地震がいくつも存在します。

また、2015年9月関東・東北豪雨、2018年7月豪雨（西日本豪雨）、2019年東日本台風や土砂災害など、水に関わる災害にも多く見舞われています。

今回の資料案内では、災害についての知識を深め、実際に防災計画を立てることに役立つ資料やインターネット情報を紹介します。いざという時スムーズに情報を得ることができるよう、改めて防災について見直してみませんか。



埼玉県立図書館所蔵資料



インターネット情報
※二次元コードからも
ウェブサイトにアクセス
することができます。

司書おすすめウェブサイト

二次元コード右上に「」マークがついているウェブサイトでは、自身の環境や状況に合わせたシミュレーション体験やワークシートの作成などができます。自分にとっての備えを身近に感じることができるため、この機会にぜひご自身でお試しいただきたいウェブサイトです。

【検索キーワード】

図書館資料やインターネット情報を探す際は、検索用語として以下のようなキーワードを組み合わせながら検索すると、知りたい情報にアクセスしやすくなります。

「災害」「災害史」「防災」「減災」「避難」「地震」「台風」「洪水」「土砂災害」「豪雪」「噴火」「気象災害」「自然災害」「災害対策」「耐震」「備蓄」「液状化」「地盤沈下」「ハザードマップ」「南海トラフ地震」「首都直下地震」「災害支援」など…

ステップ1 災害について、基礎的な情報を集める

一日本の災害にはどんな歴史や種類があるの？

日本は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、地震や台風、豪雨、土砂災害、火山噴火などによる自然災害が発生しやすい国です。

災害の種類や概要、歴史などの基礎的な情報は、まずは事典類を使って調べてみましょう。

 R210.77/ㇷ㇚『令和災害史事典 令和元年-令和5年』(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ
(館内利用) 2024)

昭和版、平成版の継続版です。令和になってから発生した災害が時系列で並べられ、概略や被害データなどを知ることができる事典です。

 R369.3/ㇷ㇚『災害と防災・防犯統計データ集 2024』(三冬社 2024) 【年刊】
(館内利用) 災害の発生状況や被害状況だけではなく、災害に関する意識調査なども図表にまとめたものです。避難所での実体験やフェイクニュースに関する意識調査など、多種多様な調査の結果が掲載されています。

 R369.3/ㇷ㇚『災害・防災の本全情報 2012-2020』(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ
(館内利用) 2020)

国内で刊行された図書の中から災害・防災に関するものを集めた図書目録で、数年に一度の割合で刊行されています。書誌によっては内容の記載もあり、事項別索引はキーワードを探す際のヒントにもなります。

 R369.3/ㇷ㇚『日本歴史災害事典』(北原糸子[ほか]編 吉川弘文館 2012)
(館内利用) 災害の概説、古代から平成23年までに起こった歴史的な災害など、災害に関することについて総合的に解説されている資料です。図版も多数あり、災害基本用語や索引もあります。

 R369.3/ㇷ㇚『防災白書 令和6年版』(内閣府編集 日経印刷 2024) 【年刊】
(館内利用) 災害対策基本法に基づき、日本の災害政策の取組状況、防災措置の概況、防災計画などをまとめている政府編集の資料です。復興対策や国際防災協力についても知ることができます。

 R451.98/ㇷ㇚『気象災害の事典 -日本の四季と猛威・防災-』(酒井重典[ほか]編 朝倉書店 2015)
(館内利用) 日本の気象災害について、春夏秋冬ごとに説明している資料です。災害に至るメカニズムなどが、わかりやすく記されています。

 369.3/ㇷ㇚『地震防災の事典』(岡田恒男[ほか]編 朝倉書店 2000)

地震のメカニズムや地震災害の特徴など、地震防災に関する総合的な情報が解説されています。

 369.33/ㇷ㇚『風水害と防災の事典』(風水害と防災の事典編集委員会編 丸善出版 2021)

風水害の現象およびその被害、命を守るための情報収集や行動などが、カラー写真やイラストを用いて解説されています。

 451.98/ㇷ㇚『台風・気象災害全史』(宮澤清治[ほか]編 日外アソシエーツ 2008)

西暦567年から2007年までに発生した気象災害が時系列で記載されており、熊谷市近郊で日本最大の雹が降ったとされる1917年6月29日の災害も記載されています。シリーズ本として『地震・噴火災害全史』(災害情報センター[ほか]編 日外アソシエーツ 2008)があります。

 「防災を学ぶ」
(https://www.bosai.go.jp/activity_general/foundation/index.html 防災科学技術研究所)

地震、火山、気象、土砂などの災害の基礎知識を得ることができます。



「防災を学ぶ」

 「防災学習ポータルサイト」
(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html> 国土交通省)

洪水、地震、火山の災害が起こるしくみを学ぶことができます。
子供向けページのため、わかりやすく説明されています。教員向けページもあります。



「防災学習ポータルサイト」

ステップ2 防災について知る

災害の基礎的情報について学んだら、身を守るための知識を深めてみましょう。

📖 369.3/キ『キーワードで学ぶ防災福祉入門』（川上富雄[ほか]編著 学文社 2024）

防災や防災福祉について、主に見開きページでわかりやすく解説されている入門的な資料です。

📖 369.3/サ『災害からみる防災・減災Q&A』（藤田嘉美著 オーム社 2011）

防災のポイントや減災豆知識をまとめ、いざという時のヒントをQ&Aでわかりやすく解説しています。

📖 369.3/サ『災害情報と避難 その理論と実際』（中村功著 晃洋書房 2021）

災害を取り巻く各種情報源を取り上げ、パニックやデマのメカニズムについても言及されています。

📖 369.3/サ『災害・防災の心理学』（木村玲欧著 北樹出版 2015）

災害前後の心理状態について、基礎的な知識や想定されるリスクを幅広く紹介しています。

📖 369.3/杓『防災リテラシー 第2版』（太田敏一[ほか]共著 森北出版 2021）

防災に関する基礎知識や、実際の事例を説明しています。

📖 S369.3/サ『埼玉防災マニュアル 2024-2025』（埼玉新聞社編 埼玉新聞社 2024）

(館内利用) いざという時に役立つ備えや適切な避難行動がイラスト入りで分かりやすく紹介されています。

🌐 「防災ポータル」

(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/index.html> 国土交通省)

被害想定やハザードマップなど日頃から知ってきたい情報、リアルタイムの被害状況など災害時に見てほしい情報、リアルタイムの天気・地震情報がまとまったページ等、災害に関する情報の総合的な窓口です。



「防災ポータル」

🌐 「川の防災情報」

(<https://www.river.go.jp/index> 国土交通省)

地点登録をすると、登録した地点の周辺の川が氾濫した場合のリスク判定ができます。また、ダム放流通知や避難情報などに関する行政発表や河川のライブカメラ画像などをリアルタイムで知ることができます。



「川の防災情報」

🌐 「キキクル（危険度分布）」

(<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/> 気象庁)

「土砂災害」「浸水害」「洪水害」のリアルタイムの危険度を知ることができます。



「キキクル」

🌐 「埼玉県川の防災情報」

(<https://suibo-river.pref.saitama.lg.jp/mainMap.html> 埼玉県)

洪水予報、水位基準値超過状況、警報など、県内観測所のデータをリアルタイムで知ることができます。



「埼玉県川の防災情報」

🌐 「刊行物・レポート」

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html> 気象庁)

気象庁が作成した様々な災害に関するリーフレットや動画を閲覧できます。小冊子『マンガで解説！ 南海トラフ地震その日が来たら・・・』や『日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震事前の備えで命を守る！』など、様々なダウンロード資料が用意されています。



「刊行物・レポート」



「防災の手引き ～いのちとくらしをまもるために～」

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html> 首相官邸)

災害対策として役立つ情報を発信しています。



「防災の手引き」



「災害に備える」

(<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/index.html> 警視庁)

話題にもなった「災害対策課ベストツイート集」では、災害時だけではなく普段の生活にも役立つ便利技や豆知識を得ることができます。



「災害に備える」



「防災対策」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/kurashi/bosai/taisaku/index.html> 埼玉県)

災害が起こる前の備えから、起こった後まで、様々な情報が詰まっています。

「イツモ防災」のページでは「防災マニュアルブック」やクイズやゲームを通して学ぶことができる小学生向けの防災教材もダウンロードできます。



「防災対策」

ステップ3 居住地域の災害リスクを知る

—自分が住んでいる土地には、どのようなリスクがあるの？

実際に、自分が住んでいる土地の地盤や活断層の位置、水害を受けやすい場所などを調べてみましょう。



(館内利用) S290.3/サ『第一軍管地方迅速測図』（参謀本部陸軍部測量局〔編〕 大日本測量〔19--〕）

明治13年から19年に作成された地図資料です。調べたい土地を遡って調べる際にも有用です。

「歴史的農業環境閲覧システム」(<https://habs.rad.naro.go.jp> 農業環境技術研究所)でも閲覧でき、過去と現在の地図を照らし合わせながら表示することができます。



S455/サ『埼玉県地質地盤資料集 2018年度版』（埼玉県環境科学国際センター 埼玉県環境科学国際センター研究企画室 2019）

県内公共機関が工事の際に行ったボーリング柱状図が掲載されており、地域別の地質がわかります。

2022年度版からは、埼玉県環境科学国際センターのウェブサイト

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/torikumi/911-20091224-1424/sonota/jibansiryouth24.html>

埼玉県環境科学国際センター)で公開されています。



S511/サ『埼玉県地盤沈下調査報告書 令和2年度観測成果』（埼玉県環境部水環境課〔編〕 埼玉県環境部水環境課土壌・地盤環境担当 2022）【年刊】

県内各地の地盤沈下について、市町村別に掲載されています。平成29年からは、埼玉県のウェブサイト

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/901-20091217-288.html> 埼玉県)に掲載されています。



「ハザードマップポータルサイト」

(<https://disaportal.gsi.go.jp> 国土交通省・国土地理院)

「重ねるハザードマップ」では、知りたい場所を指定し、求めるリスク情報を選択することで、浸水想定区域、指定緊急避難場所、道路冠水想定箇所、通行規制区間、活断層図などの様々な情報を地図や写真に重ねて表示していくことができます。

「わがまちハザードマップ」では、都道府県名、市区町村名、ハザードマップの種類などをプルダウンで選択することで、全国の自治体が作成・公開したハザードマップを検索できます。



「ハザードマップポータルサイト」



「浸水ナビ」

(<https://suiboumap.gsi.go.jp> 国土交通省)

河川が氾濫した際、自分の住んでいる地域にどのような浸水被害が想定されるのか、時間経過ごとの浸水範囲や浸水深の変化、現在の水位状況などを、アニメーションやグラフ、写真等で直感的に知ることができます。



「浸水ナビ」



「地理院地図（電子国土Web）」

(<https://maps.gsi.go.jp> 国土地理院)

現在の地図と戦後の年代別空中写真、活断層図、明治期の低湿地、土地条件図などを重ねながら表示することができます。使い方は「地理院地図の使い方

(<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/general/index.html> 国土地理院)」をご確認ください。



「地理院地図」

ステップ4 防災計画を立てる

—周りの人と話し合いながら、具体的な防災計画を立ててみよう！

最後に、実際に自分に合った防災計画を立てるための資料や情報をご紹介します。“いざ”という時をイメージするためにも、ご自分の状況と照らし合わせながら、ぜひ作成してみてください。



369.3/シ『自分と家族を守る防災ハンドブック』（アーサー・T.ブラッドレー著 月谷真紀訳 楽工社 2014)

食料、水、シェルター、照明、電力、冷暖房、睡眠、応急手当など、防災で気になる項目ごとにわかりやすく説明されています。巻末には、食料備蓄リスト、電話番号、重要書類、自宅のチェックリスト、家の危険箇所チェックリスト、電化製品の必要電力量、薬とアレルギーのリスト、避難の際ドアに残す張り紙、我が家仕様の防災計画が掲載されているため、日頃の防災に役立ちます。



S369.3/枚『帰宅支援マップ 首都圏版 15版』（昭文社 2024）

(館内利用)

震災直後、帰宅困難者が徒歩で帰宅をする場合の帰宅支援ルートを紹介しています。



「県内市町村地震ハザードマップ」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/jishinhazado.html> 埼玉県)

県内市町村のハザードマップ掲載ページのリンク集のため、お知りになりたい自治体のハザードマップに簡単にアクセスできます。



「県内市町村地震ハザードマップ」



「マイ・タイムライン」

(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

国土交通省)

河川の氾濫が起きそうな時の行動計画作成ツール「逃げキッド」をダウンロードすると、自身の防災行動計画を時系列に沿って簡単に作成することができます。



「マイ・タイムライン」



「逃げキッド」



「東京備蓄ナビ」

(<https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp> 東京都)

いくつかの簡単な質問に答えていくだけで、自分に合わせた備蓄品目と必要量の目安を知ることができます。



「東京備蓄ナビ」

「災害用伝言ダイヤル (171)」

(<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/> NTT東日本)

災害用伝言ダイヤル (171)、災害用伝言板 (web171) の利用方法を映像で見ることができます。定期的に体験利用も行っています。



「災害伝言ダイヤル」

「災害時に備えた食品ストックガイド」

(<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/guidebook.html> 農林水産省)

備蓄に適した食品の選び方、ローリングストック法等による日頃の活用方法、災害時に役立つ簡単レシピなどの実践的な内容を取りまとめた「災害時に備えた食品ストックガイド」「要配慮者のための災害時に備えた食品ストックガイド」を公開しています。



「災害時に備えた食品ストックガイド」

ステップ5 防災体験ができる施設の紹介

能美防災そなえ (埼玉県防災学習センター)

(<https://saitamabousai.jp> 埼玉県防災学習センター)

鴻巣市にある入館無料の施設です。地震や暴風などの災害時の対処方法を体験・学習でき、地震、煙、消火などを体験できるコーナーもあります。



「埼玉県防災学習センター」

ステップ6 日本語の情報にアクセスしにくい外国人の方へ

「災害時に便利なアプリとWEBサイト (多言語)」

(<https://www.bousai.go.jp/kokusai/web/index.html> 内閣府)

日本の災害情報などを知ることができる、スマートフォンのアプリとWEBサイトを紹介するリーフレットがダウンロードできます。紹介されているアプリやウェブサイトの二次元コードも付いていて、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、クメール語、ビルマ語、モンゴル語に対応しています。



「災害時に便利なアプリとWEBサイト (多言語)」

「防災マニュアルブック 命を守る3つの自助編 【多言語版】」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/library-info/20190801itsumo.html> 埼玉県)

英語、中国語、韓国語、ベトナム語に対応している防災ブックがダウンロードできます。



「防災マニュアルブック (多言語版)」

「外国人のための災害・防災の情報」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/bousai-news-links.html> 埼玉県)

やさしい日本語や多言語に対応している災害関連情報を発信しているページです。



「外国人のための災害・防災の情報」

「災害への備え」

(<https://www.police.pref.saitama.lg.jp/g0050/kurashi/earthquake-foreigner.html>

埼玉県警察)

様々な言語に対応した「我が家の安心チェックシート～Our security check sheet～」

「地震の被害を軽減させるヒント～Tips to reduce earthquake damage～」

「地震の備え～Earthquake preparation～」がダウンロードできます。



「災害への備え」